

## 自分と薬

コウスケ

僕は16歳の時、初めてブロンをやりました。その頃の僕は学校生活もうまくいかず、モヤモヤとした日々を送っていました。中学生の頃からイジメにあい、高校に入ってもそれは続きました。幸い僕は体が大きかったので暴力にはあいませんでしたが、学校では友達ができず、家の中もなぜか殺伐とした感じで自分の居場所みたいなものを見つけられませんでした。そんな中、ブロンを飲んだら気持ちよくて許せなかったことも許せるようになり、これはいいものを見つけた！といった感じでした。それから面白くない事があれば1本飲むという感覚です。ブロンを飲んでさえいれば人に対しても社交的に接することが出来るようになったし、それまであったモヤモヤ感もなくなりました。勉強もはかどり、家の中でも居場所があるように感じられるようになってブロンは手放せなくなりはじめました。ただ、それでも学校生活は窮屈でイジメらしきものは無くなったにせよ、やはり僕にとっては苦痛でした。結局学校は中退しました。そしてこの頃からブロンをやる回数も増えていきました。学校へも行ってない、仕事もしていない、他の同級生は楽しそう・・・コンプレックスを持つようになりブロンをやることでごまかしていたような気がします。

高校を辞めた後に親に連れられて初めて精神科の病院にも行きました。ひどい神経症で、何度も手を洗ったり戸締りの確認も何度も何度もやっていたので、親としても心配だったんでしょう。結局は病院で安定剤を出してもらい、それも飲むようになりました。

20歳を過ぎた頃にはブロンがひどくなり、離脱を抑えるために安定剤をがぶ飲みすることを覚えました。ある日、夜眠れずに仕方がないからと安定剤を大量に飲んだらブロンの離脱がなくなることに気付いたんです。それからブロンと安定剤を繰り返し繰り返し使用するパターンになりました。そんな僕でも20代前半の新聞屋でバイトをしていた頃はブロンが止まりました。最初の10ヶ月程度だけですが、物凄く忙しかったのとカウンセラーの先生からのアドバイスもあり止っていたのだと思います。が・・・やはり結局は仕事やカウンセリングではブロンは止まりません。いつのまにかブロンを手にするようになりました。仕事が終われば5、6本のブロンを飲み、錠剤も2瓶は軽く飲むようになりました。これはヤバイと思い始めて、親からも病院に入るように言われたこともあり入院する事にしました。ただそのときも僕の心の中では「病院なんかに入っても治るわけがない」と思っていました。入院生活は退屈で2ヶ月我慢するのが精一杯でした。入院してもブロンをやめる気にはならず、外出や外泊をしてはブロンを飲んでいて退院してもすぐにまた使うようになりました。

2回目の入院の後、NAに繋がりました。自分で名古屋ダルクに電話してNAの会場を聞き、電車に乗って行きました。会場には僕を含めて3人しかいませんでしたが、テレビで見たことのある人もいました。でも僕の地元の岐阜では当時は週に1度しかNAはなく、そのうえいい加減な気持ちで通っていたこともあり、NAでもブロンは止まりませんでした。

一人暮らしを始めて、家を離れば止まるかと思い試してみましたが・・・止まりません。そうこうするうちに借金も増えていき、仕方がないので親の物も自分の物もお金に変えました。その中には親の結婚指輪もありました。もう食べるものもなくお金にも困り、岐阜ダルクに助けを求めました。精神的にボロボロになっていました。

ダルクに繋がって変わったことは、お金の心配や薬の心配をしなくてよくなったことです。繋がる前は万引きで捕まったり、明日のブロン代をいつも気にしたりしていたので、まずそういう心配から解放されたのが1番ホッとしました。ただ、それでもダルクの生活も嫌になり、また全てをまる投げして行かなくなりました。とたんに万引きやパチンコをやる毎日に逆戻りになり、すぐにブロンも飲むようになりました。そんな僕の生活をみて、親からは今度は茨城ダルクに行くようにと手紙が何通も送られてきました。行くしか仕方がないかとは思っていたのですが、茨城ダルクの評判があまりよくなかったんで正直戸惑っていました。でも結局は行くしかなかったので、イヤイヤながらも決心をして茨城ダルクに行きました。

施設は汚いし、元ヤクザって感じの人もいて、こんなところにいて薬が止まるのかと不安でしたが、仲間の手助けもあって不思議と薬が止まり始めました。茨城ダルクに着いた日から僕のクリーンが始まったのです。その後、先行く仲間の助言もあり磐梯ダルクへ行きました。仲の良い仲間もでき普段の生活もクリーンでいることも少しずつ楽になり始めました。磐梯での生活は食事係りが大変なくらいで快適な生活を送らせてもらいました。そしてクリーンが1年になった時には自分でもビックリしました。

今は宇都宮で生活をしています。この施設でも仲間に恵まれブロンをやらないクリーンな毎日を送っています。岐阜や茨城にいた頃よりもミーティングも上手く使えるようになったと思います。まだまだ問題はありますが、何とか今よりも回復できるように努力しています。そしてこれからも仲間と一緒に薬を使わない生活を楽しみ続けたいと思っています。